

# One-Bo 利用インタビュー

株式会社バンダイナムコスタジオ様





## 株式会社バンダイナムコスタジオ

コーポレート本部 人事総務部 総務課 マネージャー 首藤 裕二 様  
第1スタジオ 第3プロダクション ゲームデザイナー 三富 瑠音 様

### 株式会社バンダイナムコスタジオ

株式会社バンダイナムコスタジオは、家庭用ゲームソフト、モバイルコンテンツ、PCコンテンツなどの企画・開発・運営を行っています。「ワールドワイドメジャータイトルの創出」を基本戦略の一つに掲げており、グローバルで通用するクリエイターの育成、開発体制の構築を進めています。

### 全社アンケートで希望が多かった個室ブース

株式会社バンダイナムコスタジオ(以下:バンダイナムコスタジオ)は、コロナ以前、約1000人の社員が出勤していましたが、コロナ禍により、リモートワークを中心としたハイブリッドな働き方が定着しました。その変化にオフィスも対応すべく、ゲームクリエイターが最も働きやすい環境の実現を目指し、全社アンケートを実施しました。

アンケート内では、「フリーアドレス席の導入」「集中して作業できる個人ブースの設置」「Web会議が行えるスペースの確保」を希望する声が多くあがりました。その結果、社員の要望に応えつつ、ゲーム開発に必要な不可欠なコミュニケーションが自然と生まれるような場も備えた形を作るべく、社内にコワーキングスペース『クリエイバ(Creative Bubbles)』を開設しました。個室ブースは、オンライン会議だけでなく、集中スペースなど用途によって使用方法が異なるので、一つのスペックにこだわる必要はないと考え、幅広く探した中でOne-Boを知りました。



## 使い勝手の良さから10台の導入を決断

最終的にOne-Boを購入した決め手は3点あります。1点目は使い勝手の良さです。鍵が付いていないので、社員が手軽に使用できるのではないかと考えました。2点目は室内の広さです。企業柄、モニターの使用や、資料を広げることが多いため、室内のスペースを重視していました。そして、3点目はスマートガラスなどを含めた標準装備などの仕様面と価格のバランスがとてもよかったことです。最終的には10台の導入を決断しました。導入後は、当初の想定通り短めのオンライン会議で利用している社員が多く見られます。「急なオンライン会議でも、手軽に使用できる」と社内でも好評です。

## スマートガラスと内装のシンプルさがお気に入り

実際の利用者からも以下の声が届いています。

「他社とのミーティングでOne-Boをよく使用しており、お気に入りのポイントは2点あります。1点目は、スマートガラス機能です。ゲームデザイナーという仕事柄、開示前の情報を扱うことが多いです。フリーアドレスだとパソコンの画面を見られる可能性があります。扉のスモークをオン・オフにできるスマートガラス機能で、視覚的な情報漏洩の防止が出来ます。2点目は、内装のシンプルさです。照明、換気扇、スマートガラスなどボタンの位置や操作方法がわかりやすいです。One-Boは初めて利用した時、快適に使用できました」。



## コロナ後も続くOne-Boニーズ

マスク緩和など、コロナが落ち着いてきたことを受け、今後は出社の増加が見込まれます。出社が増えることにより、一層複数人用の会議室の使用率が高まるので、One-Boのような個室ブースのニーズは増えると思っています。バンダイナムコスタジオでは引き続き、社員のパフォーマンスが上がる環境づくりをするために、定期的に社員の声を聞き、オフィスの環境をアップデートしていきます。そして、世界中のゲームファンの皆さまから「すごく楽しかった」の声を聞けるように、今後もお届けしていきます。